

令和5年度

# 地域歯科衛生活動事業助成実施報告書



令和6年4月

公益社団法人日本歯科衛生士会

地域歯科保健委員会

公益社団法人日本歯科衛生士会  
令和5年度地域歯科衛生活動事業助成交付要項

## 1 目的

地域住民の歯科口腔保健の向上に関する事業をより一層推進するため、申請団体等の地域歯科衛生活動に対して助成金を交付する。

本助成は「歯科口腔保健の推進に関する法律」の制定・公布（平成23年8月10日）を記念し、平成24年度から実施する。

## 2 対象団体

- (1) 「地域歯科衛生活動」事業を主催事業（共催等含む）として実施する都道府県歯科衛生士会。
- (2) 日本歯科衛生士会が指定する対象事業を、主催事業（共催等含む）として実施する団体または関係機関。

## 3 対象事業

地域住民の歯及び口腔の健康づくり、生涯を通じた歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上等、歯科口腔保健の推進に寄与する事業であること。

事業項目は、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 母子歯科保健事業
- (2) 学校歯科保健事業
- (3) 事業所歯科保健事業
- (4) 成人歯科保健事業
- (5) 障害(児)者歯科保健事業
- (6) 高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業
- (7) 食育推進事業
- (8) 多職種連携・協働による歯科口腔保健推進事業
- (9) その他歯科口腔保健推進事業

## 4 留意事項

- (1) 事業の実施内容及び実施方法が他の地域においても応用できるものであり、かつ普遍性の高いものであること。
- (2) 事業実施にあたり、可能な限り、行政、歯科医師会、教育機関など関係機関および団体等と連携や協力が得られるものであること。
- (3) 同一事業の申請は3年を限度とする。
- (4) 事業の成果については、歯科衛生だより、日本歯科衛生士会ウェブサイト等への掲載、また、オンデマンド配信による報告動画の作成を依頼することがある。  
さらに、日本歯科衛生学会学術大会等での発表および学会雑誌への投稿を目指すものであることが望ましい。

## 5 事業実施期間及び交付額

- (1) 原則として、事業は4月1日以降に開始し、翌年2月末日までに完了すること。
- (2) 申請は各団体1件とし、事業助成件数は予算の範囲内とする。
- (3) 令和5年度の助成交付額は1件につき30万円以内とし、経費支出基準は別紙のとおりとする。

## 6 申請手続き

- (1) 助成金の交付申請を行う団体は、所定の書式に必要事項を記載の上、日本歯科衛生士会事務局宛に書留郵便、レターパックなど書類の追跡が可能な送付方法により、期限内に提出する。
  - ① 助成金交付申請書（様式1）
  - ② 予算内訳書（様式2）
- (2) 助成金交付申請書等の提出期限  
令和5年3月13日(月)～4月3日(月)（必着）

## 7 助成団体の選定及び決定

地域歯科衛生活動助成事業審査委員会において審査選定し、理事会にて報告・承認後、助成団体を決定する。

なお、審査委員会の運営に関して必要な事項は別途定める。

## 8 助成金の返還

申請内容と異なる事実が生じた場合は、助成金の返還を求める。

また、事業が助成交付額より少額で完了した場合は、残額の返還を求める。

## 9 報告書の提出

- (1) 助成対象事業が完了した時は、所定の書式に必要事項を記載の上、日本歯科衛生士会事務局宛に書留郵便、レターパックなど書類の追跡が可能な送付方法により、期限内に提出する。
  - ア 事業報告書（様式3）
  - イ 会計報告書（様式4）
  - ウ 助成対象経費を支払ったことを証明する領収書等原本の添付。  
ただし、やむを得ない理由で原本提出が難しい場合は、写を可とする。  
(その場合、領収書等原本は実施団体が保管し、保存期間は日本歯科衛生士会会計及び財産管理規程第22条の(3)証憑書類により、7年とする。)
  - エ 写真、チラシ、パンフレット等、事業実施を確認する資料
  - オ 提出の事業報告書は、令和5年度地域歯科衛生活動事業助成報告書にとりまとめ、日本歯科衛生士会ホームページに掲載する。
- (2) 提出期限  
令和6年3月11日(月)（必着）

## 10 申請書及び報告書提出先

公益社団法人日本歯科衛生士会 地域歯科衛生活動助成事業審査委員会宛  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19  
電話 03-3209-8020  
E-mail jimukyoku@jdha.or.jp

## 令和5年度地域歯科衛生活動事業助成事業実施報告

令和5年度の事業助成は、令和5年5月13日に審査委員会による審査会を開催し、10団体の活動計画に助成金を交付しました。各団体から提出の実施報告書をまとめましたので、今後の歯科保健事業の実施や地域活動の参考にご活用願います。

### 令和5年度地域歯科衛生活動事業助成交付事業一覧(10団体)

事業実施期間：令和5年4月1日～令和6年2月29日

※都道府県順に掲載

No.	実施団体名	助成対象事業	実施事業名	助成交付支出額
1	岩手県 歯科衛生士会	【継続2年目】 (7)食育推進事業	子どもの食べる力を育む口腔機能 向上普及啓発事業	300,000円
2	山形県 歯科衛生士会	【継続3年目】 (6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	自立支援型ケア会議助言の充実に 向けた支援事業～通所サービスに おける口腔ケア充実推進事業～	223,680円
3	群馬県 歯科衛生士会	【継続新規】 (6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	高齢者のオーラルフレイル予防事 業	300,000円
4	埼玉県 歯科衛生士会	【単年度新規】 (5)障害(児)者歯科保健 事業	聴覚障がい者、ろう重複障がい者 への口腔衛生指導および口腔機能 向上を目的とした支援事業	300,000円
5	滋賀県 歯科衛生士会	【単年度新規】 (5)障害(児)者歯科保健 事業	障害者通所施設の利用者・家族お よび支援者の健口支援事業	223,805円
6	和歌山県 歯科衛生士会	【継続2年目】 (9)その他歯科口腔保健 推進事業	こども食堂における歯科健康教育 活動	296,040円
7	岡山県 歯科衛生士会	【継続新規】 (9)その他歯科口腔保健 推進事業	地域歯科衛生イベントに学生会員 参加を促し地域歯科保健に貢献す る	200,168円
8	山口県 歯科衛生士会	【継続新規】 (6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	やるっちゃ山口！口腔衛生 令和 維新！ STEP-1	225,917円
9	愛媛県 歯科衛生士会	【継続2年目】 (6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	歯科口腔保健による地域支援活動 事業	300,000円
10	大分県 歯科衛生士会	【継続3年目】 (8)多職種連携・協働に よる歯科口腔保健推進 事業	地域包括ケアにおける社会資源と しての口腔ケアステーション設置 事業	300,000円
			10団体合計	2,669,610円

# 令和5年度 地域歯科衛生活動事業助成交付事業報告(10団体)

## No.1 岩手県歯科衛生士会【継続2年目】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人岩手県歯科衛生士会 共催：岩手県歯科医師会、岩手県栄養士会、岩手県看護協会 他
2	事業名	子どもの食べる力を育む口腔機能向上普及啓発事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 35日 検討委員会 3回 オンデマンド配信 (R6.1/4~1/31)
4	対象者および参加人数	・実施人数 144人(4保育園：幼児128人、保育士16人) ・住民対象オンデマンド配信 再生回数 745回
5	従事者等	延47人(歯科衛生士40人、歯科医師3人、言語聴覚士4人)
6	事業概要	(1)検討委員会の開催 3回(委員会構成員6人) (2)「お口あそび」を取り入れた保育園での歯科保健指導の実施 (3)「お口あそび」研修情報のオンデマンド配信による普及啓発 (4)オンデマンド配信に関するアンケート調査 回収数69人
7	得られた効果	・「お口あそび」を紹介した歯科保健指導の展開は、教育・保育関係者が「口腔機能」に関心を持つ機会となった。 ・食に課題のある園児を把握し具体的な提案を行ったことで、保育関係者が子どもの口腔機能の弱さに気づき、園児の食の課題解決に取り組む動機づけになった。 ・オンデマンド配信による普及啓発によって、多くの人に摂食機能の獲得と口腔機能について理解をいただいた。
8	今後の課題	・子どもの健康教育に携わる関係者が、口腔機能に視点をおいた歯科保健指導が展開できるよう、均てん化を図る手段の検討が必要である。 ・小児の口腔機能についての認知度はまだまだ高くないので、情報の普及啓発の継続を検討する。
9	【指導の様子、オンデマンド配信】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>保育園での歯科保健指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お口あそび(指導媒体)</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

## No. 2 山形県歯科衛生士会【継続3年目】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 山形県歯科衛生士会 共催：山形県在宅歯科医療連携室
2	事業名	自立支援型ケア会議助言の充実に向けた支援事業 ～通所サービスにおける口腔ケア充実推進事業～
3	実施回数、開催日等	実施日数 22日 高齢者施設訪問 5施設（1施設3～4回訪問）
4	対象者および参加人数	・デイサービス・デイケア事業所 5施設 ・施設利用者及び介護職員 279人
5	従事者数等	延46人（歯科衛生士11人、施設管理者・介護福祉士・看護師、地域包括職員等35人）
6	事業概要	(1)「口腔ケアチェックリスト」の作成 (2)施設における「口腔清掃用具」「口腔清掃」「職員の関心度」など、口腔ケアの取組みについて評価 (3)評価をもとに職員向け研修会の実施 5回 (4)介護職員及び施設利用者への歯科保健指導の実施
7	得られた効果	・事業に興味を持った診療所勤務歯科衛生士と連携室歯科衛生士が県内広い地域で活動することができた。 ・診療所勤務歯科衛生士が、口腔ケア指導に積極的に参加した。 ・連携室歯科衛生士が現場を見学したことで、今後の連携室活動に繋がるのが期待できる。 ・各施設を訪問し助言指導を行っても、その後の施設の取組みに格差が見られた。
8	今後の課題	・利用者への関わり方がよくわからない職員や、口腔ケアに対して施設全体が同じ方向を向いていないなど、施設によって問題が違うことから、各施設の状況に合わせた指導が必要である。 ・従事者が変わっても口腔ケアが継続できるように、施設ごとの口腔ケアマニュアルの作成が必要である。
9	【指導の様子、作成資料】	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>デイサービス・デイケアにおける 口腔ケアチェックリスト</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>令和5年度公益社団法人 日本歯科衛生士会 「地域歯科衛生活動」事業 ～通所サービスにおける口腔ケア充実推進事業～ 事業所職員向け研修会 令和5年10月30日 一般社団法人山形県歯科衛生士会 古瀬陽子</p> <p>事業所職員向け研修会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>利用者への口腔ケア指導</p> </div> </div>

No.3 群馬県歯科衛生士会【継続新規】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：特定非営利活動法人群馬県歯科衛生士会
2	事業名	高齢者のオーラルフレイル予防事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 10日
4	対象者および参加人数	参加人数 168人(高齢者サロン・デイサービス通所者、サロン運営スタッフ)
5	従事者数等	延41人(歯科衛生士30人、歯科医師1人、自治会ボランティア、民生委員・保健師・看護師等10人)
6	事業概要	(1)企画検討会の開催 2回 (2)研修会の開催 1回 参加者数 47人 内容：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ～歯科衛生士の役割～ 講師：歯科医師 (3)オーラルフレイル予防教室 10回(10施設) 講話、オーラルフレイルチェック、お口の体操、早口言葉等 (4)事業報告会の開催 1回
7	得られた効果	・県内各地域における「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業の具体的な内容を知ることができた。 ・参加者が教室で学んだことを地域に持ち帰り、今後実施する事業内容の質の向上が図れた。 ・本事業に係る多職種との連携が図られ、事業の実施について再度依頼を受ける地域もあり、事業の拡大につながった。
8	今後の課題	・本事業へ本会会員の見学者が想定より少なかったことから、参加しやすい場所や時間、日程等の検討が必要である。 ・事前にサロン等参加者のQOLの情報把握が難しいため、対象者に合わせた講話内容について不安を感じるがあった。
9	【教室の様子、啓発リーフレット】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オーラルフレイル予防教室</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オーラルフレイル予防教室</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>活用リーフレット</p> </div> </div>

#### No. 4 埼玉県歯科衛生士会【単年度新規】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：公益社団法人埼玉県歯科衛生士会
2	事業名	聴覚障がい者、ろう重複障がい者への口腔衛生指導および口腔機能向上を目的とした支援事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 5日 歯科検診 1回(8月) 歯科検診・歯科保健指導 1回(12月) 歯科保健指導 1回(5月) 口腔ケア研修会 2回(7月、10月)
4	対象者および参加人数	・「春里どんぐりの家」利用者 20人 ・グループホーム「オハナハウス」職員 12人 「マハナハウス」職員 7人
5	従事者数等	延27人(歯科衛生士25人、歯科医師2人)
6	事業概要	(1) 歯科検診の実施(「春里どんぐりの家」利用者) 延32人 (2) 歯科保健指導の実施(「春里どんぐりの家」利用者) 延33人 (3) 口腔ケア研修会の開催(施設職員) 参加者数 19人
7	得られた効果	・2014年から年2回の指導を継続していることで、利用者の歯科指導や歯科検診の拒否がなくなり、歯科受診や歯科治療に繋がった。 ・利用者主体で毎日「あいうべ体操」を行っている。 ・研修会で講義と相互実習を行ったことで、困っていることに対しての具体的な支援方法を伝えることができた。
8	今後の課題	・利用者の高齢化や持病による体力低下も考慮した口腔機能低下防止のプログラムを検討する。 ・研修会後の実態を把握するため、職員に対するフォローアップが必要である。
9	【事業実施の様子】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>歯科検診</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>個別歯科保健指導</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>口腔ケア研修会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>全体指導</p> </div> </div>

## No.5 滋賀県歯科衛生士会【単年度新規】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人滋賀県歯科衛生士会
2	事業名	障害者通所施設の利用者・家族および支援者の健口支援事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 100日 打合せ会 1回 媒体作成 4回 施設訪問回数 100回 (通所95施設、グループホーム5施設)
4	対象者および参加人数	障害者通所施設、障害者グループホームの利用者 1,613人 施設職員 500人
5	従事者数等	延202人(歯科衛生士)
6	事業概要	(1) 歯科保健指導用視覚媒体の作成 3枚(歯みがきのポイント、歯ブラシの持ち方・動かし方など) (2) 施設訪問による歯科保健指導の実施 (3) 施設に媒体を配布し、活用について説明(洗口所等に貼付け) (4) 媒体活用についてのアンケート調査 回収数47施設
7	得られた効果	・媒体の絵やイラストが見やすくわかりやすいと好評だった。 ・障害者自身が丁寧に歯を磨くようになり、意識が向上した。 ・介助者も意識して歯みがきに取り組めるようになった。 ・歯科衛生士による歯科保健指導内容の統一ができた。
8	今後の課題	重度知的障害者施設及び就労継続支援A型、B型の施設など、様々な施設に合わせた視覚媒体の作成が必要だった。
9	【事業実施の様子、媒体活用】	<p>利用者への指導</p> <p>洗面所へ貼付し活用</p> <p>職員による介助磨き</p> <p>職員・家族の見守り</p> <p>作成した視覚媒体</p>

**No.6 和歌山県歯科衛生士会【継続2年目】**

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人和歌山県歯科衛生士会
2	事業名	こども食堂における歯科健康教育活動
3	実施回数、開催日等	実施日数 3日 委員会 3回 打合せ会 3回
4	対象者および参加人数	98人 (子ども食堂運営者、子ども食堂利用者及び保護者)
5	従事者数等	延42人 (歯科衛生士39人、子ども食堂運営者3人)
6	事業概要	(1)委員会、打合せ会 (媒体作成、歯科健康教育内容の検討など) (2)子供向けリーフレットの作成 2,000部 タイトル「いっしょに学ぼう！お口のこと」 (3)人形劇団による指導用媒体作成と子ども食堂での歯科健康教育の実施 (講話、食べ物を使った実習など) 3施設 (4)子ども食堂運営者に保護者対象アンケート調査結果の報告
7	得られた効果	・アンケート調査をもとにリーフレットを作成し、それを展開させ歯科健康教育を実施したことで、「口腔機能の重要性」について子供だけでなく周囲の大人の理解も得られた。 ・指導内容に対する反応がその場でわかり、回を重ねるごとに内容のバージョンアップができた。 ・多くの人たちと繋がりができ、口腔のことだけでなく子どもの生活の現状について情報交換ができた。
8	今後の課題	・県内全域を対象に取り組んでいきたいが、本会のマンパワー不足や予算確保の問題があり、会として年度内に取り組める回数が限られる。

9 **【歯科健康教育、リーフレット】**



歯科健康教育の練習の様子



子ども食堂での歯科健康教育

作成リーフレット



## No. 7 岡山県歯科科衛生士会【継続新規】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人岡山県歯科衛生士会
2	事業名	地域歯科衛生イベントに学生会員参加を促し地域歯科保健に貢献する
3	実施回数、開催日等	実施日数 9日 イベント参加 5回 (8/27, 11/11, 11/19) 研修会 1回 歯科衛生士養成校訪問 3回 (2/21, 2/26, 2/27)
4	対象者および参加人数	地域歯科衛生イベントに参加する地域住民 歯科衛生士学生 141人 研修会参加者 20人
5	従事者数等	19人 (歯科衛生士17人、手話講師1人、手話通訳士1人)
6	事業概要	(1) イベントへの参加 (5 イベント) ① 県民公開講座、② 食育フェア、③ 備前子供応援フェスタ ④ お口健康フェア 2023IN 児島、⑤ 歯ッピーフェア (2) イベント来場者にアンケート調査の実施 回収数 384人 (3) 研修会の開催およびアンケート調査結果の報告 (4) 歯科衛生士学生に本会事業等の説明と講演 3 養成校
7	得られた効果	・アンケート調査結果から、10代～40代では「子どものむし歯」「歯みがき」「歯ブラシ」「歯磨剤」について、50代～80代では「歯周病」「お口のフレイル」について学びたいと思っている人が多いことがわかった。
8	今後の課題	・学生に会活動やアンケート結果を知ってもらい、媒体づくり等への参加を促すために、養成校の先生方と密に連絡を取り合い、学生の興味を促していく。
9	【イベント会場での指導の様子】	   
		<p style="text-align: center;">歯科衛生士養成校での説明と講演</p> <p style="text-align: center;">研修会の様子</p>

No. 8 山口県歯科衛生士会【継続新規】

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人山口県歯科衛生士会
2	事業名	やるっちゃ山口！口腔衛生 令和維新！ STEP-1
3	実施回数、開催日等	実施日数 10日 打合せ会 5回
4	対象者および参加人数	高齢者、要介護者
5	従事者数等	延25人（歯科衛生士23人、歯科医師2人）
6	事業概要	(1) 冊子作成打合せ会 5回（作成メンバー11人） (2) 口腔ケアの方法や留意点を書いた冊子の作成 1,000部 (3) 冊子をもとに歯科衛生士の相互実習を実施
7	得られた効果	・介護施設や訪問歯科診療の経験がない歯科衛生士にとって、高齢者への口腔ケアについて不安の声が多かったが、詳細な手技を冊子にしたことで、歯科衛生士自身の手引きになった。また、これを基に相互実習を行うことができた。 ・高齢者施設で口腔ケアに携わる看護師やセラピストに、統一した手技を伝えることができる。
8	今後の課題	・高齢者施設で講演できる歯科衛生士の人材育成。 ・冊子では加えきれない内容も少なくないため、講演資料に付け加えていく。

9 【作成した口腔ケアマニュアル】

**口腔ケアマニュアル**

① 既往歴・現病歴・服薬の確認  
② 安全な姿勢・体位の確保  
③ 唇の処置  
④ 口腔内観察  
a 義歯を外して洗う  
b 歯の位置・汚れ具合の確認  
c 口腔乾燥の状態(柿木分類)  
d 歯茎や舌の状態確認  
⑤ 口腔清掃  
a 舌苔や乾燥癬の除去  
b ブラッシング・歯間ブラシ  
c 粘膜清掃・汚れの回収  
⑥ 粘膜保湿  
⑦ その他

一般社団法人 山口県歯科衛生士会

① 既往歴・現病歴・服薬から  
\* 誤嚥しやすい舌の状態を確認！

② 姿勢・体位  
\* 継続させるためのこと

③ 唇の処置(舌が乾燥して傷が治るのを防ぐ)  
\* 唇が乾燥して舌が外に出るのを防ぐ  
\* 唇が乾燥して舌が外に出るのを防ぐ  
\* 唇が乾燥して舌が外に出るのを防ぐ

④ 口腔内観察  
\* 義歯を外して洗う  
\* 歯の位置を確認して汚れ具合を確認する  
\* 歯の位置を確認して汚れ具合を確認する

⑤ 口腔清掃  
\* 舌苔や乾燥癬の除去  
\* ブラッシング・歯間ブラシ  
\* 粘膜清掃・汚れの回収

⑥ 粘膜保湿  
\* その他

b) ブラッシング時に、残っている歯の位置・汚れ・汚れ具合を確認

① 1度前歯  
② 2度側歯  
③ 3度奥歯

④ 歯茎・舌の状態を確認  
\* 歯茎の腫れ・歯肉の出血  
\* 舌の乾燥・舌の厚み

⑤ 口腔清掃  
\* 歯の汚れ・乾燥癬の除去  
\* 歯の汚れ・乾燥癬の除去

b) - i) ブラッシング(歯磨き)  
\* 歯と歯茎の間にブラシが当たっているのを感じる感覚しながら磨いていく

歯ブラシは鉛筆の持ち方で150~200gの軽い力で磨く

歯ぐきに45度の角度で当てて小刻みに動かす

歯の両側は歯ブラシを縦に差し込んで磨く

b) - ii) 歯間ブラシの使い方  
\* 歯ブラシだけでは60%しか汚れは取れない  
\* 歯間ブラシも併用することが必要

サイズは歯ぐきが下がってればS~M  
通常の歯ぐきならSS~S

歯と歯の間に水平に差し込んで歯面に沿って前後・斜めに動かす

歯と歯の間に水平に差し込んで歯面に沿って前後・斜めに動かす

毛が折れたり長さが1つにつき始めたら交換

o) - i) 粘膜清掃(口腔ケアスポンジ)  
\* 乾燥したスポンジは粘膜を傷める為、必ず濡らしてから使用する

洗面所が無ければ「洗面所」と「掃除機」の2つのコップを準備。洗った後は必ず軽く絞ってから挿入

塗布する時はポンポンとパチパチするよう使い

汚れを回収する時は奥から手前にクルクル回転させながら使う

\* スポンジの形状や粗さにより、同じ手技で行っても汚れの取れ具合は顕著に異なる為、実施しながら使いやすいものを選択する。

o) - ii) 粘膜清掃(口腔ケア用ウエッチ)  
\* 不織布のガーゼをマウスウォッシュに漬けて絞ってから利用してOK

巻き方の例：角が表に出ないように巻く！

清掃の仕方

\* 原則\*

粘膜清掃は奥から手前に巻く  
歯ぐきは絶対に触らない  
歯ぐきに水分を流し込まない

**No.9 愛媛県歯科衛生士会【継続2年目】**

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人愛媛県歯科衛生士会
2	事業名	歯科口腔保健による地域支援活動事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 5日 会議参加 3回 施設指導 2回
4	対象者および参加人数	施設職員、施設入所者・利用者、地域ケア会議参加者等 97人
5	従事者数等	延12人(歯科衛生士)
6	事業概要	(1)地域ケア会議への参加 2回(6/29、7/20) 参加者数 22人 (2)地域密着型サービス事業所運営推進会議への参加 1回 会議出席者にオーラルフレイルに関する資料を配布・説明し、 口腔体操指導を実施(出席者：民生委員、施設職員等 9人) (3)施設職員を対象に基本的な口腔ケアについて指導し、職員同 士による相互実習を実施 参加者数 40人(2施設) (4)介護老人保健施設の「口腔衛生の管理」に関する技術的助言 及び指導 ディサービス利用者 17人、施設職員 9人
7	得られた効果	・地域ケア会議や運営推進会議に参加することで、地域の関係者 や多職種に歯科衛生士を知ってもらい、口腔衛生管理の重要性 やオーラルフレイルについて理解していただいた。 ・口腔衛生管理指導に相互実習を取り入れ、実際に実施し体験す ることで、より理解を深め、利用者の気持ちに寄り添ったケア の実施に繋がると期待できる。
8	今後の課題	・地域ケア会議への参加にあたっては、ケアプランや介護保険の 仕組み等への理解が必須である。 ・事前に施設の参加人数や要望の把握を行い、指導プランをマニ ュアル化し、誰でも同レベルの指導ができるようにしておく。
9	【事業実施の様子】	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">運営推進会議への参加</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">介護老人保健施設の技術的助言・指導</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">施設職員への口腔ケア指導</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>

**No.10 大分県歯科衛生士会【継続3年目】**

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人大分県歯科衛生士会 共催：オレンジカフェ「手をつなごう」、大分県栄養士会 他
2	事業名	地域包括ケアにおける社会資源としての口腔ケアステーション 設置事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 88日 相談・指導・訪問回数 16回
4	対象者および参加人数	大分県民、認知症患者等、医療・介護・福祉の関係職種 179人
5	従事者数等	延88人(歯科衛生士86人、管理栄養士2人)
6	事業概要	(1)相談窓口の開設 電話相談10回(R5.4月～R6.1月) 口腔ケアに関する相談対応、必要に応じて他職種と連携 (2)口腔健康管理に関するリーフレット、資料の提供 (3)認知症カフェ、通いの場にて口腔健康管理指導の実施 3回 (4)在宅訪問による口腔健康管理の実施 1回 (5)管理栄養士による栄養相談の実施 2回
7	得られた効果	・多職種協働による口腔ケアステーションを機能させることで、 口腔健康管理が普及し市町村や他職種との連携に繋がった。 ・相談窓口を継続することにより、同一相談者から新たな相談を 受けるなど、地域包括ケアの機能である社会資源を創出するこ とができ、地域づくりの一助となった。
8	今後の課題	・口腔ケアステーションを事務局として、地域の口腔に関する相 談窓口の拠点を担っていく。 ・地域ケア会議で口腔に課題のある人を抽出し、口腔アセスメン ト作成や口腔健康管理指導を行い、地域歯科保健の啓発を実践 継続する。
9	【事業実施の様子】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>認知症カフェでの指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>通いの場(サロン)での指導</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>在宅訪問による指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>管理栄養士による栄養相談</p> </div> </div>